



企画財政課主査 武田 宜裕

まちづくり基本構想って？

# 教えて！ タケダさん！

市の担当者に  
聞きました

「幸せの感じ方や「よいまち」の定義は一人一人違います。が、どんなときでも力を合わせて幸せなまちにしたいという想いを市全体で共有したい」と思い、できるだけシンプルなお話をしました。これを出発点にして、みんなで一緒にまちのことを考えていけたらいいなと思っています。

市の計画としては、とてもシンプルな印象です。

未来の大竹をどんなまちにしたいかを表した計画です。市民の皆さんの思いや意見などをもとに、何十年先でも実現していきたいまちの姿と、そのために大切にしたい理念を定めたものです。

まちづくり基本構想とは？

イラスト中心の構成にした理由は？

絵本のような雰囲気にすることで、市民の皆さんに親しみを持ってもらいたいと思いました。イラストだからこそ伝わるものもあるんじゃないかと思っています。

「30年後の未来の大竹の姿」は、「田舎すぎるのでは」という意見もありましたし、「笑顔があふれていて楽しそう」という意見もありました。人それぞれ受ける印象が違ってよいと思います。まちへの愛着があるからこそ、いろいろな声があって、それをみんなで話し合いながら未来のまちをつかっていくことが、これからのまちづくりに大切だと思っています。

どのように活用していくのですか？

このまちづくり基本構想を教材に小学校の授業などで活用してもらう予定です。多くの人に知ってもらうために動画の制作も検討しています。



未来の幸せのために今できることをしようという決意と行動を、コイのぼりやタネまきで表現しました。一人一人がまいたまちづくりのタネが花を咲かせていきます。



まちづくりの話し合い中♪



まいたタネが…



花を咲かせました！

2021年

2050年

空飛ぶ未来のコイ型ロボットで空中散歩！



小さなコイたちは市内の小学生たちが未来への願いを込めて描いてくれたよ。

“コイ”のナビゲーター



未来の大竹のイラストを左右に開くと…

ボクもいるよ！  
見つけてね！

幸せのコイたちがいっぱい！

未来の市民が現在にタイムスリップして、現在の市民の努力を知る物語仕立てにしました。縁起のよい「8」匹の幸せのコイは、たくさんの市民が願う未来の幸せを示しています。



# 大竹市 みんなで考えた まちづくり 基本構想 ができました。

30年後の大竹はどうなっているだろうか？  
時代が変わっても残したい大竹の良さは何だろうか？  
誰もが幸せな未来は共通の願い。  
未来の幸せづくりのために、できることを始めよう。  
そんな想いでつくった、まちづくりの新しい構想です。

市ホームページでは、「まちづくり基本構想」をより詳しく知ることができ、解説付きで紹介しています。英語版・中国語版の「まちづくり基本構想」なども掲載予定です。



問い合わせ  
企画財政課 ☎59-2125

# お お た け 未 来 創 造 会 議

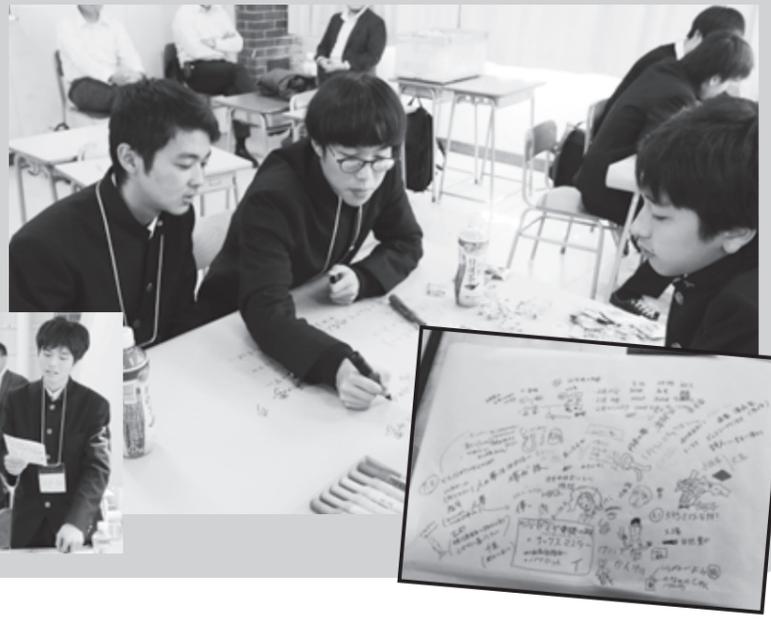


「将来こんなまちになったらいいな」、「こんな人生を歩みたい」、「未来に残したい大竹の良いところを話そう」—。おおたけ未来創造会議と題して、世代を超えて市民の皆さんが集い、まちの将来を語り合いました。まちづくり基本構想は、そんなたくさんの夢や想いをすくい取りながら、形になっていきました。

## 高校生ワークショップ

若者が描く  
ライフストーリー

「30歳までには結婚したいな」  
「自然も施設も充実しているまちに住みたい」  
大人の階段を上り始めた若者たちが思い描く、30年後の「ライフストーリー（人生設計）」。



未来を創る  
物語

## 中学生ワークショップ

「やっぱり人が集まるまちがいいな」  
「自然を大切にしたいね」  
それぞれの大竹の好きなところや、将来こんなまちなら住んでみたい、という思いを4コマ漫画で表現。楽しさの中にも、若者の大竹へのリアルな想いも感じられる作品が生まれた。



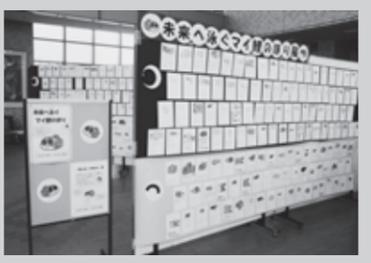
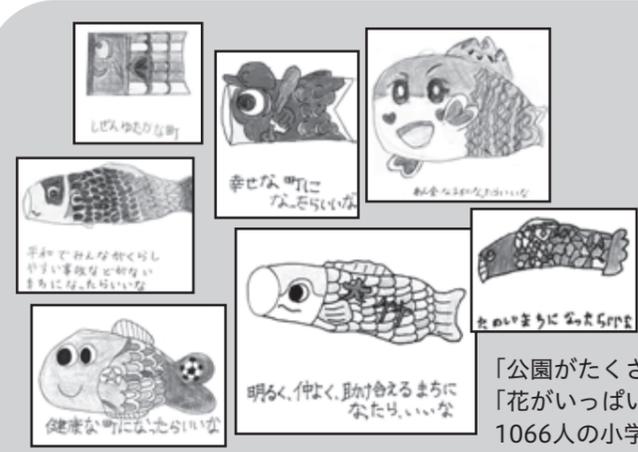
↑作品は市ホームページで見られます。

世代を超えて語り合う  
まちの未来

## 市民ワークショップ



「これからはみんなが支え合っていくことが大切」  
「郷土愛を育みながら、ずっと笑顔で暮らせるまちに」  
全3回のワークショップでは、20代から70代までの市民が、「未来の大竹に残したいもの」「今必要なもの」などをテーマに、世代を超えてまちの未来を熱く、楽しく、真剣に語り合った。



「公園がたくさんあるまちになったらいいな」  
「花がいっぱいのまちになったらいいな」  
1066人の小学生が夢と願いを込めて描いた、個性あふれる1066匹のコイのぼり。総合市民会館でも展示された。

小学生の夢と願いを乗せて

## 未来へ泳ぐマイ鯉のぼり

作品は市ホームページで見られます。→



WORK



幼少期からマンガのキャラクターを考えるのが好きだったという秦さんの作品。イラストだけでなく、指人形やだるまなど、ポップさとなつかしさが合わさった独特の味わいとセンスが光る。



「今回のお話が来た時はどう思われましたか？」

絵の仕事を始めから、他の自治体などからの依頼を受けたことはあるのですが、大竹市に関するお仕事は初めてなので、「やっと来た！」と思いました(笑)。

「どんな想いでイラストを手がけましたか？」

新型コロナウイルスの影響でまちをゆっくり歩いて回れなかったので、写真や資料を参考にしつつ、いただいたイメージやいろいろな方の意見も交えながら、自分なりに未来の大竹がこうなっていたらいいなという想いを込めて描きました。未来の大竹のまちのイラストは、未来を感じる要素も入れていますが、なつかしさというか、「自然」に選んでいっているようなイメージで描きました。道路も、印象が暗くなるので灰色のアスファルトではなく、あえて茶色の土にしています。屋根が緑に覆われた家は、時代を意識したエコなイメージです。

「高校卒業後、本格的に絵の道に？」

当初は、東京の美術大学へ行くために広島で数年働いて資金を貯める予定でしたが、東京や京都などで個展を開いたり、広島で地域イベントに関わったりして、いつの間にか資金と、人のつながりができ、絵描きとして独立する

きになられた印象です。

物心ついた時から、自分の好きなことを仕事にしたい思いがあったかもしれません。働くのが好きで、小さいころから実家の書店の手伝いで、週刊誌を小さい自転車のかごに詰めて商店街を配達して回っていました。また、二軒隣の文具屋さんで伝票を買い

まちと自然がギュッと共存しているのが大竹らしさ。未来への希望もこめて描きました。

ことができました。そして興味の先が舞台芸術の方にいき、美術大学に進学することもなく上京しました。

ちなみに私の絵を最初に買ってくれたのは、全国的に有名なダンスユニット・コンドルズの近藤良平さんなんです。

「すごい！なるべくして絵描

に行き「ツケをお願いします」と言って買うのが好きでした。今後予定は？

現在は東京に住んでいます。現在は7月から大竹を拠点に活動していく予定です。今やりたいのは、大竹の手すき和紙を使った「張り子」の製作。三倉岳など大竹の名所・

「ほどよい田舎感が大竹の良さ」という市民の意見を思い出しました。

都会化が進んで、どんどん建物が建っていくんじゃないかと、もっと自然に近づいていくのが自分の理想だったりします。人間も動物の一種だし、もっと単純で良いんじゃないかと思っています。

でも、山と海が近くて、自然に挟まれて家や工場があつて、雑多だけどギュッとしているのが大竹らしさで面白いなと思います。山や工場が喋るような物語を考えてみたいかなります(笑)。

「絵を描くことは子どものころからやっていたのですか？」

小さいころはピアノやそろばん、習字、合唱など毎日何かしらの習い事をやっていたんですが、絵を描くのが好きだったので、個人的な趣味みたいな感じでマンガを描いたりしていました。

中学校では、部活動は吹奏楽部でしたが、部活動以外の時間で友達とマンガを描いていました。修学旅行の記録を

名物をモチーフにした作品を作ってみたく思っています。壁画なんかも描いてみたいです。



フルカラーのマンガで作り、担任の先生に欲しがられました。あげませんでした(笑)。高校では美術部に入り、デザインコンクールの全国大会に出たり、全国高等学校総合文化祭のポスターも担当しました。東京に修学旅行に行くことになり、当時『週刊少年ジャンプ』の読者投稿コーナーの構成を担当していたさくまあきらさん(ゲームシリーズ「桃太郎電鉄」の生みの親)にどうしても会いたくて、自由時間に会いに行き、自分の作品を見てもらったりしました(笑)。

「絵画とマンガ、両方のタッチが合わさって今の作風が生まれたのかもしれませんがね。」

Interview

秦景子さん

(新町出身)

Hata Keiko

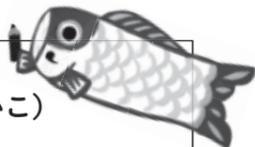


Profile

秦景子(はた・けいこ)

大竹市新町生まれ。高校卒業後、平成13年より「はと」の名義で作品の発表を始める。絵画、イラストレーション、ぬいぐるみ、粘土、だるまなど平面、立体の作品を制作し、全国各地で展覧会を開催。また舞台美術、広告美術、壁画、人形、キャラクターデザイン、御朱印デザインなど多岐にわたる制作活動を行う。

平成30年から1年間チェコ共和国に遊学。全日本だるま研究会会員。趣味は郷土玩具収集とチェコ語。



まちづくり基本構想がめざす幸せづくりの第一歩

# まちづくり基本計画

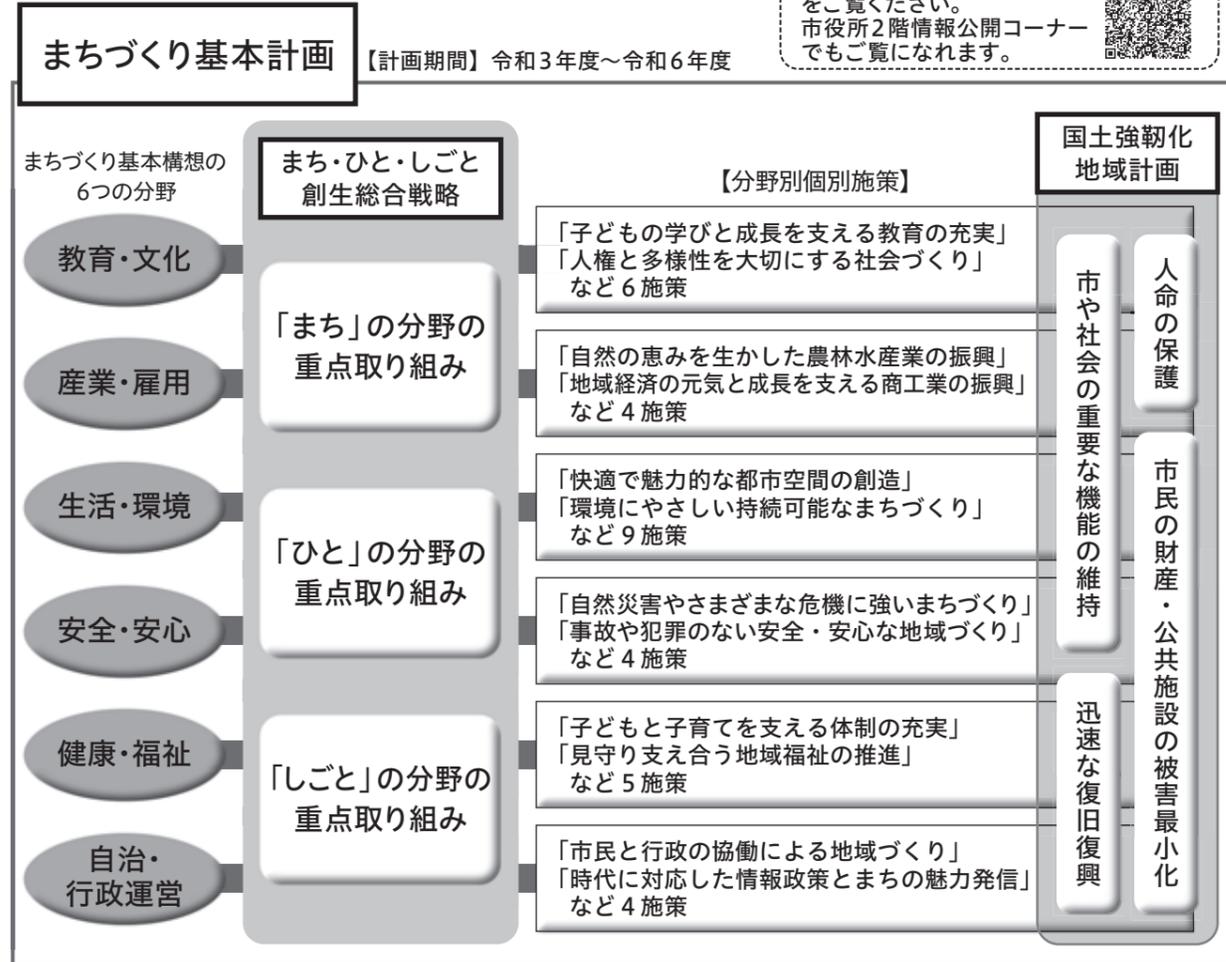
ほか2計画を一体的に策定

問い合わせ 企画財政課 ☎59-2125

まちづくり基本構想の理念に沿った、6つの分野での取り組みを定めた「まちづくり基本計画」。人口減少社会に対応するための重点取り組みを定めた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」。最悪の事態を回避し、災害に強いまちをつくるための「国土強靱化地域計画」。まちづくり基本構想がめざす未来の幸せを実現するため、さまざまな分野での取り組みの方向性を定めた3つの計画を一体的に策定しました。



計画の詳細は市ホームページをご覧ください。市役所2階情報公開コーナーでもご覧いただけます。



## 災害時の避難場所・避難所の指定を見直しました

問い合わせ 危機管理課 ☎59-2119

災害情報 テレホンサービス  
防災行政無線が聞き取れないときは、こちらから(無料) ☎0120-590-131

令和3年度版の「大竹市緊急避難場所・指定避難所一覧」(A3桃色)を、市広報5月号と一緒に全戸配布しています。お住まいの地域の避難場所を確認し、対応する災害や開設されるタイミングを、今一度しっかりと確認してください。

### 昨年度からの主な変更点

○自主避難場所を、総合市民会館と大竹市役所としました。自主避難者の受け付けは、市役所が24時間体制で、総合市民会館が開館時間内となります。

○旧穂原小学校を第3次避難場所としていましたが、校舍解体に伴い指定を解除します。

“自分の命は自分で守る”が基本  
いざというとき、とっさの判断や行動で身を守るのは自分自身です。日頃からの備えや意識が自分の身を助けます。

ハザードマップで危険箇所を確認したり、避難場所や避難経路についてあらかじめ調べたりしておきましょう。地域の防災訓練などに参加して実際に行動してみると、気が付かなかった点も見えてくるかもしれません。

また、防災行政無線は、気象状況によって聞こえにくいこともあり、情報メール、災害情報テレホンサービスなど、できる限りの手段を活用してください。

市の防災情報メール  
防災行政無線の内容や、市からのお知らせが登録メールアドレスに配信されます。

《登録手順》  
①QRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信。②数分以内に、返信メールが届きますので、本文に記載されたアドレスをクリックして、登録ページへ。③配信を希望する情報(防災情報・防犯情報・気象情報など)を選択し、「次へ」を押し登録内容を確認。④登録を確定すると、完了メールが数分以内に届きます。



※QRコードの読み取りができない方は、次のアドレスに空メールを送信してください。  
bousai.otake-city@raidan.ktaiwork.jp  
お使いのスマホや携帯電話に、迷惑メール防止設定などがされていると、メールが届かない場合があります。  
otake-city@raidan.ktaiwork.jp  
からのメールを受信できるように設定してから操作してください。

日本の経済活動の実態を把握するため、6月1日を調査期日として、全ての事業所と企業を対象に実施する全国一斉の統計調査です。

### 必ず答えないといけないの？

正確な回答をいただけないと経済の実態を正確に把握できないため、本当に必要な施策が実施できなくなる恐れがあります。

このため、「統計法」という法律に基づき、回答する義務(報告義務)と、これに反したときの罰則が定められています。

### 情報の保護は大丈夫？

調査員をはじめとする関係者には、法律で、調査で知ったことをほかに漏らしてはいけない義務と、これに反したときの罰則が定められています。また、回答内容は、統計作成の目的以外(徴税資料など)には絶対に使用しません。

## 経済センサス インターネットで回答を

### 活動調査

あなたの回答で日本の未来が見える

問い合わせ 企画財政課 ☎59-2125



インターネット回答がおススメ  
メリット1  
安心のセキュリティ  
事業所と企業には個別にログイン用IDが配付され、不正アクセスから厳重に守られます。

### 簡単な作業

調査に関する全ての作業がパソコン・スマホの画面上で完結するため、調査票への記入や郵送などの手間が省けます。

### 24時間回答可能

都合にあわせて、入力・中断・保存・送信が24時間いつでも可能です。

※メンテナンスなどによるシステムの停止時間は除きます。

### 複数事業所をまとめて回答できる

本社などで一括して個々の事業所のデータをまとめて回答できます。

5月末までに配付される調査書類に詳細が記載されていますので、ぜひ、安心・簡単なインターネット回答(回答期限 6月8日(火))をお願いします。